

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年12月10日 (2015.12.10)

【公開番号】特開2014-61257(P2014-61257A)

【公開日】平成26年4月10日 (2014.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-018

【出願番号】特願2013-38951(P2013-38951)

【国際特許分類】

A 4 5 D 1/00 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 1/00 5 0 5 Z

A 4 5 D 1/00 5 0 2 B

A 4 5 D 1/00 5 0 5 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月22日 (2015.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

棒状の第 1 の支持部材と、

前記第 1 の支持部材に回転可能に設けられた棒状の第 2 の支持部材と、

電気を供給されて発熱する発熱部と、

前記第 1 の支持部材に設けられ前記発熱部と熱的に接続される第 1 の熱部と、

前記第 1 の熱部と対向して前記第 2 の支持部材に設けられかつ前記発熱部と熱的に接続される第 2 の熱部と

前記第 1 の熱部の反対側に位置しかつ前記発熱部と熱的に接続され、互いに間隔をあけて配置された複数の第 3 の熱部と、

前記第 2 の熱部の反対側に位置しかつ前記発熱部と熱的に接続され、互いに間隔をあけて配置された複数の第 4 の熱部と、

前記第 3 の熱部の間隙に突設された略円柱状の複数の熱不良導体からなる第 1 のくし歯部と、

前記第 4 の熱部の間隙に突設された略円柱状の複数の熱不良導体からなる第 2 のくし歯部と

を備えることを特徴とするくし付きヘアアイロン。

【請求項 2】

前記第 1 のくし歯部の前記熱不良導体は、前記第 1 の支持部材の長手方向に沿って配列され、前記第 2 のくし歯部の前記熱不良導体は、前記第 2 の支持部材の長手方向に沿って配列されていることを特徴とする請求項 1 に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 3】

前記第 1 及び第 2 の支持部材が、それぞれ半円筒形状を有し、かつ平坦面を対向させて互いに並列しており、

前記第 1 及び第 2 の熱部は、前記平坦面側にそれぞれ配置され、

前記第 3 及び第 4 の熱部は、前記平坦面の逆側の外周面側にそれぞれ配置されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 4】

前記第 3 及び第 4 の熱部は、前記第 1 及び第 2 の支持部材の外周面の周方向に沿ってそれぞれ前記間隔をあけて配設されていることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 5】

前記第 1 及び第 2 のくし歯部の前記熱不良導体がピン体であることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 6】

前記第 1 の支持部材に設けられる半円筒状の第 1 の熱良導体と、
前記第 2 の支持部材に設けられる半円筒状の第 2 の熱良導体と

をさらに備え、

前記第 1 及び第 2 の熱良導体は、長手方向に沿って外周面に設けられた複数の溝部をそれぞれ有し、

前記第 3 の熱部は、前記複数の溝部と交互に配置された前記第 1 の熱良導体の外周面部であり、

前記第 4 の熱部は、前記複数の溝部と交互に配置された前記第 2 の熱良導体の外周面部であること

を特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 7】

前記第 1 及び第 2 のくし歯部は、前記溝部に挿入される板状の基部をそれぞれ有し、

前記熱不良導体は、前記基部の長手方向に所定の間隔をあけて当該基部の表面から突設されること

を特徴とする請求項 6 に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 8】

前記第 1 のくし歯部は、前記第 1 の熱良導体の外周面の円周方向に沿って 2 つ以上設けられ、

前記第 2 のくし歯部は、前記第 2 の熱良導体の外周面の円周方向に沿って 2 つ以上設けられる

ことを特徴とする請求項 6 または 7 に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 9】

前記発熱部が、前記第 1 及び第 2 の支持部材にそれぞれ設けられる第 1 及び第 2 の発熱体を備えることを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 10】

前記第 1 の発熱体は、前記第 1 及び第 3 の熱部と熱的に接続され、

前記第 2 の発熱体は、前記第 2 及び第 4 の熱部と熱的に接続される

ことを特徴とする請求項 9 に記載のくし付きヘアアイロン。

【請求項 11】

前記第 1 または第 2 の支持部材に設けられる放電電極と、

前記放電電極に高電圧を印加する高電圧発生部と、

をさらに備えること

を特徴とする請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載のくし付きヘアアイロン。